福祉保健関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和３年８月２０日（金）午後１時３０分から午後２時３０分

２　方　法　Ｗｅｂ会議方式

３　当番市　名古屋市

４　出席者　県・・・〇福祉局地域福祉課課長補佐　福永達也
〇福祉局高齢福祉課地域包括ケア認知症施策推進室
主査　青井誠一郎
〇保健医療局医務課こころの健康推進室室長補佐
鈴木清誠
〇感染症対策局感染症対策課ワクチン接種体制整備室
室長補佐　浅野将宏
市・・・〇名古屋市健康福祉局総務課長　浅井令史　始め４１名
市長会事務局・・・〇行政係長　渡辺加奈子　始め２名

５　内　容
（１）　開　　会　市長会事務局財政係長　梶浦稔

（２）　あいさつ　福祉局地域福祉課課長補佐　福永達也

（３）　議　　題　（議長　名古屋市健康福祉局総務課　浅井令史）

〇発言内容
【議長】
名古屋市健康福祉局総務課長の浅井でございます。今年度、本市が当番市ということでございますので皆様のご協力をいただきながら、円滑に議事の進行を務めさせていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
それでは議題の協議に入らせていただきますが、簡単に協議の進め方についてご説明をさせていただきます。
まず議題ごとに協議を行っていただきますが、各市の状況につきましては前もって事務局より配付していただいておりますので、それぞれの状況の発表はとり行わないということでございます。

初めに議題提案市から、趣旨説明をしていただきます。その後、私から簡単に各市の取りまとめ状況をお話させていただきまして、それぞれのご回答に補足説明がある場合は説明をしていただきます。議題提案市や出席者において、回答集計資料から、他市の状況を追加で確認したい場合はお聞かせいただきまして情報交換を行いたいと考えております。最後に、必要に応じまして愛知県の方からコメントをいただくという順番で進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。議題につきましては、１４時３０分頃の終了を予定とし進めさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

それでは、議題に入らせていただきます。総合事業における移動支援（訪問型サービスＤ）等の実施についてということで、資料１をご覧いただきたいと思います。まず提案市の豊川市さんの方から、この議題についての趣旨説明をお願いします。

議題１　総合事業における移動支援（訪問型サービスＤ）等の実施について
（豊川市提出）

【豊川市】

豊川市福祉部介護高齢課長の石黒と申します。よろしくお願いします。

本市としましては、高齢者の介護予防及び外出支援のため、地域型通所サービスの利用者の送迎を、移動支援訪問型サービスＤで実施することについて検討をしております。

そこで、各市の取り組み課題などを参考にさせていただきたいと思い議題に提出させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

【議長】

ありがとうございました。

各市の取りまとめ状況につきまして、資料１－１の総合事業の移動支援等の実施につきましては、実施しているが３市ございました。実施には至ってないが検討しているが５市、実施も検討もしていないというのが３０市となっております。

また、資料１－２モデル事業、高齢者の移動支援の実施につきましては、瀬戸市・半田市・犬山市・日進市・北名古屋市の５市が実施しております。

今回の回答資料につきまして、補足説明が必要な場合はお願いいたします。

補足説明についてはなさそうでございますので、豊川市さんの方から資料を見て他の市の方からの内容についてご確認したいところがあればお願いいたします。

【豊川市】

皆さんご回答ありがとうございました。

見させていただきまして、小牧市さんに詳しく聞きたいことがあります。資料の中に、住民主体通所型サービス又は一般介護予防事業の通いの場への送迎の提供を実施しているとありましたけれども、この事業の詳細、どのような車を使っているかですとか、ドライバーはＮＰＯの職員なのかボランティアなのか、利用者の負担金はどうなのかなど、詳しく教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【小牧市】
小牧市の介護保険課長平手と申します。よろしくお願いします。
どのような車かということにつきましては、実施主体でありますＮＰＯ法人の職員の方の個人所有の自家用車になります。ドライバーはＮＰＯ法人の職員になります。利用者の負担金については取っておりません。無料ということになります。

【豊川市】
お車は１台だけじゃなくて、ＮＰＯ職員の方の複数台、それぞれの車で使われているということですか。

【小牧市】
そうですね複数台。今ちょっと明確な資料がないですが、３台程度で運用されております。

【豊川市】
ありがとうございました。
それでは、資料１－２の方で瀬戸市さんにお伺いをしたいのですが、今年度中に１回、実証実験をして効果測定をする予定っていうことですが、現在の状況についてお伺いしたいです。よろしくお願いします。

【瀬戸市】
瀬戸市社会福祉課長の稲垣と申します。よろしくお願いいたします。
移動支援事業につきましては、今年度中に１回は実証実験をすることを目標としておりますが、現在、コロナ禍につき地域からのニーズ抽出が一部にとどまっている状況でございます。今後、ニーズを取りまとめ具体的なプランをいくつか地域に示し、地域のご意見を伺いながら、実証実験を進める予定でございますが、緊急事態宣言等の発令状況によりましては、年度内の実施が非常に難しくなるという場合があるものと考えております。現在の状況は以上でございます。

【豊川市】
ありがとうございました。

【議長】
その他、他の市の方で何かご発言があればお願いいたします。
春日井市さん、お願いいたします。

【春日井市】
春日井市は今２団体が実施しています。高齢者サロンなどを実施する団体が、個人の所有する自家用車を利用して、近所のスーパーや、病院などへの移動を支援しており、去年からスタートしました。今後広げていきたいが、なかなか広がらないのが実際のところです。

【議長】
ありがとうございます。その他ございますか、よろしいでしょうか。
この議題についてご意見は以上かと思いますが、今の意見交換につきまして、愛知県様の方で何かコメントや情報提供があればお願いいたします。

【愛知県】
高齢福祉課地域包括ケア認知症施策推進室の青井です。
只今ご説明いただきましたけれども、総合事業における移動支援の実施につきましては、令和３年４月１日時点で、県内で実施しているのが町村を含めましても、今日ご説明いただいた３市のみに留まっております。一方、昨年度県が実施した調査において半数以上の市町村が、高齢者の移動支援に関するサービスが不足していると感じると回答をいただいておりまして、市町村の関心は非常に高いものであると認識しております。
このため、本県では昨年度の総合事業対応研修におきまして、総合事業と移動支援についてというテーマで講義を行い、市町村や地域包括支援センター職員の方々の理解促進を図っております。また、昨年度から来年度までの３ヵ年を実施期間としまして、高齢者が自家用車に依存しなくても自立した生活を送れるように、福祉と交通部門が一体となった移動支援サービスの実証事業を県内６市町で行っておりまして、令和５年度以降、成果を全県波及させることとしております。
今後も市町村の皆様のご意見をいただきながら、県としてできる支援を実施して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【議長】
ありがとうございました。
それでは、議題２に移りたいと思います。避難行動要支援者の個別避難計画作成についてということで、提案市の豊川市さん趣旨説明をお願いいたします。

議題２　避難行動要支援者の個別避難計画作成について（豊川市提出）

【豊川市】
本市では、登録の同意が得られた要支援者を登録するにとどまっており、人口１８万６０００人の約１．０５％の１９７０人が現在登録をしております。
ただ、個別計画の作成までには至っておらず、今回、災害対策基本法の改正により、概ね５年で個別避難計画を作成することが努力義務化されましたので、令和７年度までに全計画を作成することを目標に現在動いている状況です。そこで、５年間のスケジュール方針を決めるにあたり、各市の取り組み内容を参考にさせていただきたいと思い、議題に提出させていただきましたのでよろしくお願いいたします。

【議長】
ありがとうございました。
各市の取りまとめ状況でございます。避難行動要支援者数については資料の通りですが、個別避難計画策定については一部項目について作成済みという市もありますが、回答いただいた３８市中２０市が作成を進めているようでございます。
資料２－２個別避難計画情報の外部提供に関する条例の制定状況については、実施要綱で定めているという市が３市、その他についてはほとんどの市が未定ということで回答をいただいております。福祉避難所の数については、資料にございますのでご覧いただきたいと思います。
ご提出いただいた資料につきまして、補足説明があればお願いいたします。
よろしいでしょうか。それでは、豊川市さんの方で確認したいという市があれば発言をお願いいたします。

【豊川市】
資料２－１の方なのですが、１ページ目の春日井市さんにお伺いをしたいです。内容としましては、今年度、モデル地区でケアマネ等の専門職に携わっていただき、作成する予定とありましたけども、ケアマネさんなどの専門職に携わっていただくようになるまでの経緯についてお伺いしたいです。

【春日井市】
資料にあるように、計画作成実績は８３４名で、モデル３地区の対象の方が６２名です。現在は、ケアマネジャーや障害の計画作成担当者の方３名に協力をいただきながら会議などをして、個別の避難計画を立てていく段階にあります。

【豊川市】
ケアマネジャーさんへの説明なのですが、例えば市内にある全事業所を集めて説明会を行ったのか、それとも、今回作成に携わる事業所のケアマネジャーさんだけ集めて説明をしたのか、その辺を聞きたいです。

【春日井市】
本来でしたら、市内の事業所を全部集めて実施できるとよかったですが、今回については該当する方の担当するケアマネジャーの方に個別にお願いをしました。コロナも落ち着いて、このモデル事業、このやり方でやれるという道筋がつけば、春日井市ですと介護分野であれば居宅介護支援事業者の集まりで全体的な制度の説明と計画作成の協力を推進していきたいと考えています。

【豊川市】
ありがとうございました。
愛西市さんにもお伺いしたいのですが、システムを導入し個別避難計画を作成できる環境を整えたとあるのですけども、どのようなシステムなのかお伺いしたいです。よろしくお願いします。

【愛西市】
愛西市の高齢福祉課長井戸田と申します。直接の担当課ではないので詳しいことを申し上げるのは難しいかもしれませんけども、今まで避難行動要支援者の名簿作成を主な委託業務でシステムを使っていたのですけども、法改正とともに個別計画の作成が急務だということになりまして、昨年度３者によるプロポーザルでシステム導入したということなのですが、基本的には愛西市独自でのカスタマイズではなくて、他市でも導入されているような基本パッケージがあってそこに多少、愛西市のカスタマイズが入ったシステムだというふうに聞いております。簡単ではございますがこの程度でよろしいでしょうか。

【豊川市】
ちなみにプロポーザルに参加されていた事業者さんの名称をお伺いできますでしょうか。

【愛西市】
本市が落札した業者の名前はわかるのですが、他の業者についてはちょっと手元にないので。落札された業者さんはＲＣＳと聞いています。

【豊川市】
ありがとうございました。
どこの市ということはないのですが、個別避難計画をすでに作成されている市で、避難先について要支援者全員を福祉避難所にしているのかお伺いをしたいのですが。

【議長】
個別避難計画の避難先を福祉避難所にしている市の方は、ＺＯＯＭ機能のリアクションボタンを押していただけるとありがたいのですが。
ないですかね。福祉避難所に直接というのはなさそうですね。

【豊川市】
わかりました。ありがとうございました。

【議長】
その他、この場でご意見や情報共有しておきたいことがあれば、発言していただきたいのですがよろしいでしょうか。
ないようですので、この議題につきまして愛知県様の方からコメントや情報提供があれば発言の方お願いいたします。

【愛知県】
愛知県地域福祉課福永と申します。よろしくお願いします。
個別避難計画の作成につきましては、５月に災害対策基本法が改正されこれまでは任意の取り組みであったものが、法律で努力義務化されたところでありまして、一層の促進が求められているというところでございます。
こうした中、福祉部局の担当課の方にご案内しているところでございますが、８月２６日に避難行動要支援者の個別避難計画に関する市町村福祉担当課長会議を、私どもの方でオンラインで開催させていただきます。この会議は国からの説明や、茨城県古河市と岩手県奥州市の事例発表が内容となっているところでございます。ぜひ、この会議が皆様方の取り組み促進の一助となればと思っているところでございます。

その他、災害時の要配慮者支援として、福祉避難所の確保促進が重要となっているところでございます。福祉避難所につきましては、指定福祉避難所の公示が５月の災害対策基本法施行規則の改正で求められておりまして、災害時に学校など避難所と同様、直接の避難先として国も推奨しているところでありますので一層の確保の程、よろしくお願いいたします。以上でございます。

【議長】
ありがとうございました。
それでは、議題３に移ります。新型コロナワクチン接種についてということで、資料３の方をご覧いただきたいと思います。
提案市の刈谷市さん、この議題についての趣旨説明をお願いいたします。

議題３　新型コロナワクチン接種について（刈谷市提出）

【刈谷市】
刈谷市の長寿課岩見でございます。よろしくお願いします。
こちらを今回議題として提出させていただきました趣旨でございますが、現在、各市町村におかれまして順次ワクチンの接種が進められていることと思いますが、接種率の向上に向けて未接種者、特に高齢者の未接種者に対する働きかけにつきまして、各市で実施をしておられることについてお聞かせいただければということで、提出をさせていただきました。
これを議題として提出をしました時期と、現在とで大きく状況が異なっておりまして、現在高齢者の接種率としましては、すでに８０％、或いは９０％といったレベルに達しているところが多いと思われますし、今高齢者よりもむしろ若い世代における接種率向上の方が問題になっているかと思います。また、そもそもワクチンの供給量の問題、こちらの課題解決の方が先だというお考えもあろうかと思います。
こういった状況でございますので、高齢者に対する接種勧奨は、特に考えていないというところもあろうかと思いますけども、高齢者にかかわらず未接種者に対する働きかけにつきまして、今後の参考にさせていただけばと思い提案をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

【議長】
ありがとうございました。
各市の取りまとめ状況でございますが、未接種者への働きかけにつきましては、刈谷市さんのお話もありましたけど、やはりワクチンの供給量との兼ね合いもあるのかということで、現在は検討中、特段行っていないというような回答もございま

すが、ホームページやチラシ等で情報提供をしたり、個別に呼びかけを実施しているというような市もみられます。今回提出いただいた部分で何か補足したいというような市がございましたらお願いいたします。

よろしいですかね。

それでは状況はいろいろ変わってきているところですけど、刈谷市さんの方で、何か内容確認したいということがございましたらよろしくお願いします。

【刈谷市】

蒲郡市さんにお尋ねをしたいと思います。３点ほどお答えをいただいておりますが、２点目の単身高齢者等へのワクチン接種促進事業についてございます。内容としまして単身高齢者や高齢者のみの世帯など、聞き取りを行い未接種の理由別に支援策を講じておられるということでございますが、刈谷市でも７月３１日時点での高齢者の接種につきまして、どういった人たちが未接種なのかということを避難行動要支援者名簿ですとか、介護認定の情報と突合してみたのですがその結果、未接種者のうち、２５％、約４分の１が要介護２以下の単身高齢者、または高齢者のみの世帯でございました。

そこで、本市でも単身高齢者と高齢者のみの世帯に対して個別のアプローチが必要だというように考えていたのですが、蒲郡市さんが先行して実施をしておられるということでございますのでお尋ねをしたいと思います。理由として多かったものにはどんなものがあったのか、それから実際にいろんな働きかけをされているようですけども、その結果、実際に接種に繋がったケースがあったのか、この事業を進める中で何か他に気づいた点等があれば教えていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【蒲郡市】

蒲郡市福祉課長の永田と申します。それでは説明をさせていただきますが、直接の所管の事務ではございませんので担当課にヒアリングした内容をご説明させていただきます。まず未接種の主な理由としましては、やはりそういった方々は情報の入手経路が限定的であることや、予約の複雑さ、こういったものが未接種の理由となっているというところが考えられます。

予約の複雑さですが、このワクチンは２回接種或いは３週間４週間の接種間隔、予約に接種券が必須等の条件がありますので、これによってどのように予約すればよいかわからずに後回しにしてしまってそのままというようなことが、民生委員さんなどからお話しを聞くことがありました。

続いて働きかけによってどのくらい接種に繋がったかということでございますが、高齢者や障害の方などは情報把握が不十分であることが未接種の要因の一つで

あるということから、一番身近な民生委員さんですとか地域包括支援センター、或いは相談支援専門員に直接的な情報発信を依頼いたしました。

また、その際とりあえずコールセンターにお電話いただければ簡単に予約が取れますよというような旨の周知も徹底の方をいたしました。実際にどのぐらい働きかけによって接種に繋がったかということがちょっとわかりかねますが、８月１７日時点での高齢者の接種率は、本市では９１．５％ということになっております。

そして最後に、事業を実施して気づいた点でございますが、本市では７５歳以上の単身世帯の方などにシルバーカードに見守りの登録を行っていただいておりますが、そういった方については民生委員さん、介護認定を受けている方は地域包括支援センター、障害福祉サービスを利用されている方は相談支援専門員など、その対象者によってかかわり合いが深い期間が異なっておりますので、いわゆる画一的な対応ではなく個々に合わせた働きかけということが必要であると感じました。ワクチン接種の担当課だけでなく、各関係機関と連携を密にすることで接種に繋がっていくのではないかと考えております。以上です。

【刈谷市】

ありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。

【議長】

その他、何かこの議題についてご意見や情報発信したいというようなことがございましたらお願いいたします。

刈谷市さんも冒頭におっしゃっていましたけど、今後、若年者への接種の勧奨というような部分は課題かと考えております。感染がかなり広がっているようですので、何かあれば皆さんと情報共有できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

その他、よろしいでしょうか。では意見交換が終わりましたので、愛知県様の方からコメントや情報提供があればお願いいたします。

【愛知県】

愛知県の感染症対策課ワクチン接種体制整備室の浅野と申します。各市町村様におかれましては、ワクチン接種の体制整備の構築と住民接種の推進にご協力をいただきましてありがとうございます。皆様の回答にもありますが、コロナワクチンの接種は希望者に対して行うものであります。現在、新規の感染者が１日あたり１，２００人を超え大変な事態になっており、県といたしましても若者を含めた積極的な接種の推進をお願いしているところでございます。今日も午後３時から、各市町村のワクチンの担当者等を集めたウェブ会議を急遽開催します。

意見の中にもありました、ワクチンの供給に関することですが、１０月の初めまでに１２歳以上の人口約８割のワクチンを供給すると国も県も申し上げております。ご出席の皆さんは直接の担当ではないかもしれませんが、積極的な推進にご協力をお願いします。
また福祉保健関係といたしましては、高齢者施設、障害者施設の利用者及び従事者の方々への巡回接種にご協力をいただき感謝申し上げます。高齢者の方の接種につきましては、先ほども言及がありましたが、おかげをもちまして第１回目の接種で９割を超えるかたちで愛知県では推移し、実際の新規の患者数は高齢者の方はかなり減っている状況です。今後は、障害者等の方や、在宅にいてなかなか接種会場に来られない方に対する訪問接種に関して、医療機関の方に支援するかたちで推進しておりますので、そのような事業を活用いただきながら積極的な接種の推進にご協力をお願いします。今後ともワクチン接種に関しまして引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

【議長】
ありがとうございました。
それでは議題４に移りたいと思います。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築につきまして資料４をご覧ください。提案市の犬山市さん、議題についての趣旨説明をお願いいたします。

議題４　精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（犬山市提出）

【犬山市】
犬山市福祉課の奥谷です。今回提出させていただきましたのが、国の指針により、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が求められております。これは保健や医療福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制の構築ですが、当市では障害者の自立支援協議会を当面は活用して、検討する予定にはしておりますが、精神科を退院した後、その後の生活、地域での生活にはやはり医療の支えが必要であり、訪問看護とか医療サービスが重要なため、市内の訪問看護事業所が限られているということもありまして、割と市内の方は近隣市の事業所を利用する方が多いことから、やはり市内だけでなく圏域での協議も視野に検討しているところです。この圏域というところの面では、保健所主催の会議の方もこういった精神科病院さんとか参加してらっしゃる会議がありましたので、そちらの方で利用することもできないのかということで、検討の方はさせていただきましたが、やはり会議の目的が違うということで、この協議の場とすることはやはり困難でしたので、そこで皆様が今どのような形で設置をしてらっしゃるのかお伺いしたいと

思って提出させていただきました。よろしくお願いします。

【議長】
ありがとうございました。各市の取りまとめ状況でございますが、資料４にございますように３８市中２６市が設置をしていて、１２市が未設置という状況となっております。それぞれの市の状況につきまして補足説明等ございましたらよろしくお願いします。
よろしいですか。それでは犬山市さんの方で内容についてご確認したい市がございましたらよろしくお願いいたします。

【犬山市】
では、稲沢市さんにお伺いしたいと思います。稲沢市さんは平成３０年度から、基幹相談支援センター主催の会議の中で協議の場を設置されたということでご回答いただいておりますが、こちらの基幹の会議は設置要綱とかどうされているのかというところと、合わせてこの会議に出席された方への報酬の支払いはされているのかというところも教えていただきたいと思います。あと、参加者の中に当事者の方を入れていらっしゃるのですが、やはり当事者に参加をしていただくのが重要なのですけれど、人選のところでは苦慮するところがありましたので、この当事者の方の選任の仕方も教えていただけると助かります。あとこの会議ですけれど、全体で何人の会議で何回ぐらい開催されたのかというのも教えいただければと思いますのでよろしくお願いします。

【稲沢市】
稲沢市の梶浦です。設置要項についてはありません。報酬についても支払いの方はしておりません。あと当事者の人選につきましては、実際のところまだ人選というレベルにはいっていない、当事者の人選についてはまだということになっております。会議の回数は年１回で、人数としては９人ぐらいでというところです。

【犬山市】
ありがとうございます。当事者がピアサポーター在籍のとありましたのでいらっしゃるのかと思ったのですけれどわかりました。
もう一ついいですか。清須市さんと北名古屋市さんの協議の場の共同設置の検討について、現在の協議会とは別に新たに立ち上げ予定のものか、既存の協議会を利用しているのかどちらでしょうか。

【清須市】

既存の自立支援協議会を清須市、北名古屋市、豊山町の３市町で設置しており、その自立支援協議会の下に部会として、３市町の担当者レベルで話し合いをしています。今年度中の設置に向けて、２か月に１回話し合いを進めています。

【議長】
ありがとうございました。この議題につきまして、その他補足で説明をしたいというような方が見えましたらお願いいたします。
よろしいでしょうか。それでは、愛知県様の方からコメントや情報提供があれば、発言の方よろしくお願いいたします。

【愛知県】
こころの健康推進室の鈴木です。よろしくお願いします。県の方では市町村の協議の場の設置をお願いしているところです。今回はこのような前向きな議題を出していただきまして、誠にありがとうございました。
市町村の協議の場は、市町村の自立支援協議会やそういった既存の会議に位置付けていただいても差し支えないものですから、まだ設置してないところは是非、設置していただくようにご案内させていただいております。
それから家族会の方から、市町村の協議の場に参画したいという声も伺っております。今後、各市町村の方にも参画の働きかけがあると思いますので、是非、ご検討していただくようご案内したいと思っております。よろしくお願いいたします。

【議長】
ありがとうございました。
これで最後の議題は終わらせていただきますが、せっかくの機会でございますので、他に何かございましたら発言をお願いいたします。
よろしいでしょうか。これで４議題が終わりましたので以上をもちまして、私の議長としての役割を終えさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

６　次年度当番市　豊橋市

７　閉　会　市長会事務局財政係長　梶浦稔